

バリアフリー情報
HPで多言語対応
福岡市のNPO

や介護用品の貸し出しなどを福岡空港(福岡市博多区)内で行う「福岡空港しょうがい者・こづれい者観光案内所」のホームページ(HP)に写真Ⅱが多言語対応を始めた。案内所を運営するNPO法人バリアフリーネットワーク会議(沖縄市)が2月28日から開始した。HPは英語、韓国語、中国語にも対応。HP上で車椅子やベビーカーのレンタル、問い合わせが可能になった。

福岡、北九州、筑後、筑豊の4エリアごとに、主要観光施設のバリアフリーに関する情報や、バリアフリーに対応した部屋がある宿泊施設などを紹介している。

新型コロナウイルス感染

拡大の影響で、2月の問い合わせ件数は1月の半数以下となり、車椅子のレンタル予約のキャンセルも出ている。同会議は「今の状況が収束した後、楽しんで旅行に出掛けられるきっかけになれば」としている。

(小林稔子)

